



～みんなで協力して患者さんや家族の生活を支えるまちづくりを目指して～

始良地区医師会 在宅医療推進地域支援事業ニュースレター

2014年1月16日発行 vol.1 p.1

1. 始良地区医師会在宅医療推進地域支援事業がスタートしました！

今回、始良地区医師会では一人一人が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域を目指し、地域完結型のスムーズな連携体制を整えるために、多職種、行政、地域住民の方々が連携・協力・一致団結して取り組みたいと思いますのでご協力をお願い致します。

●事業内容は以下のとおりです

- ①多職種連携の課題に対する解決策の抽出
- ②在宅医療従事者の負担軽減の支援
- ③効率的な医療提供のための多職種連携
- ④在宅医療に従事する人材育成
- ⑤在宅医療に関する地域住民への普及啓発



○先般各事業所あてにお送り致しました在宅医療に関する調査（アンケート）につきましては、お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。まだご回答頂いていない方におかれましては、事務局（FAX：43-2044）までご返送下さいますようよろしくお願い申し上げます。

2. 今後の予定

この度、在宅医療・介護関係者・行政担当者等の方々が一堂に会して、講演や意見交換・グループワークを通して地域包括ケアや在宅医療について学び考えつつ、顔の見える関係を作っていく機会として、下記研修会を計画致しましたので、お誘い合わせの上、多数ご参加下さい。

○第1回在宅医療・介護・福祉連携推進研修会

日時：平成26年1月25日（土） 午後2時～

場所：始良地区医師会館 ホール（参加希望者多数の場合は変更されます）

講師：垂水市立医療センター垂水中央病院

在宅療養支援室 部長 池田 忠 先生

演題：「在宅医療と総合診療医について」

グループワーク：多職種連携について

○平成25年度在宅医療福祉研修会・交流会

日時：平成26年3月1日（土） 午後2時～

場所：始良地区医師会館 ホール

※詳細につきましては、後日ご案内致します。



3. 活動報告

○ 第1回事業運営委員会（年3回以上開催予定）

- 期 日：平成25年11月22日（金）19:00～
 場 所：始良地区医師会館 会議室
 議 題：1. 在宅医療推進地域支援事業について
 2. 事業計画及び委員会等の構成について
 3. 在宅医療推進コーディネーターについて
 4. 課題抽出のための調査について
 5. その他



☆事業内容の説明、委員会や協議会委員・推進チームの構成の協力要請と承認、諸規程の承認と事業の進め方について検討しました。2市1町全体に渡って足並みを揃えて事業を実施していくことと意識調査（アンケート）を実施する方向で進めていくことを話し合いました。

○ 第1回在宅医療推進連絡協議会（年2回以上開催予定）

- 期 日：平成25年12月25日（水）19:00～
 場 所：始良地区医師会館 ホール
 事業説明：在宅医療推進地域支援事業について
 設置要綱について
 報告事項：各団体の在宅医療に関する現状調査について
 経過報告と今後の予定
 意見交換：多職種連携の課題について
 連絡事項：アンケート調査について
 住民への意識調査
 研修会（1/25,3/1）の周知依頼



☆医療・介護・福祉関係団体、地域振興局、行政等多職種の代表の方々にお集まり頂き、活発な意見が取り交わされました。「これは町づくりの話です」と在宅医療体制づくりのためには介護と医療の両方が大事であるということ、地域にある医療資源を知り、現在困っていることを一つでも多く解決するために具体的に取り組み、連携システムの構築をしていく事を期待する等の意見がございました。

○ 第1回在宅医療推進チーム連絡会（年4回以上開催予定）

- 期 日：平成25年12月27日（金）19:00～
 場 所：始良地区医師会館 会議室
 事業説明：始良地区医師会在宅医療推進地域支援事業について
 意見交換：アンケートから（推進チームのなすべきこと）
 目的設定（参考）肝属郡医師会病院での取り組み
 研修会計画（1/25,3/1）、第2回連絡会日程



☆グループワークで「本当の多職種連携とは」、「在宅医療とは」と原点回帰し、アンケートを基に課題を抽出・目的を設定し、多職種連携の円滑な推進に向けて協働していこうと話し合いました。

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、医療・介護・福祉の提供に関連する多くの機関が手を取り合って地域住民主体の暮らしを支えていけるようご協力をお願い致します。

【在宅医療推進地域支援事業連絡協議会事務局】

公益社団法人始良地区医師会事務局内

〒899-5106 鹿児島県霧島市隼人町内山田1-6-62

TEL：0995-42-1205 FAX：0995-43-2044

れんけあニュース

連care news



～みんなで協力して患者さんや家族の生活を支えるまちづくりを目指して～

始良地区医師会 在宅医療推進地域支援事業ニュースレター

2014年2月25日発行 vol.2 p.1

1. 第1回在宅医療・介護・福祉連携推進研修会を開催致しました



平成26年1月25日(土)、霧島市溝辺のかごしま空港ホテルにおいて標記研修会を開催いたしましたところ、多職種の方々235名にお集まり頂き、盛会裏に終了することができました。

会場変更や時間の制限等があり参加者の方々にはご迷惑をお掛け致しましたが、垂水市立医療センター垂水中央病院 在宅療養支援室 部長 池田 忠先生から「在宅医療と総合診療医について」大変興味深いご講演を頂き、その後のグループワークでは3つのテーマで参加者の皆さんに、大変熱心にお話し合い頂き、連携をとっていく一つの手掛かりになったのではないかと思います。

多職種の方々の顔の見える連携を目指して今後も研修会・勉強会等開催して参りますので皆さん是非ご参加下さい。



2. 今後の予定



在宅医療・介護関係者・行政担当者等の方々が一堂に会して、講演や意見交換・グループワークを通して地域包括ケアや在宅医療について学び考えつつ、顔の見える関係を作っていく機会として、下記研修会を計画致しましたので、お誘い合わせの上、多数ご参加下さい。

●平成25年度第2回在宅医療・介護・福祉連携推進研修会・交流会

日 時：平成26年3月1日(土) 午後2時～

場 所：研修会；単人農村環境改善センター

交流会；始良地区医師会館 ホール

テ ー マ：『地域包括ケアシステム構築に向けた多職種連携について』

パネラー 始良・伊佐地域振興局：「在宅チーム医療体制づくり事業」について

歯科医師会代表：始良郡歯科医師会 会長 奥 淳一 先生

薬剤師会代表：始良郡薬剤師会 地域医療介護連携委員会担当理事 佐藤康行 先生

医師会代表：吉満内科クリニック 院長 吉満 彰 先生 より事例発表後グループワーク



・研修会終了後～ 交流会（名刺交換会及び懇親会）

3. 活動報告(1月)

● 第2回在宅医療推進チーム連絡会

- 期 日：平成26年1月14日(火) 19:00～
 場 所：始良地区医師会館 会議室
 協議事項：1. 研修会計画
 2. 推進チーム活動テーマの決定について
 3. 推進チーム委員について
 4. その他



- ★1月25日(土)開催の研修会と3月1日(土)の研修会・交流会内容確認と今後の推進チームの活動について話し合いました。

関係施設より頂いた意識調査アンケートの結果をもとに、今後3つのテーマで作業部会をつくり、目標を決めて進めていくことになりました。

● 第3回在宅医療推進チーム連絡会

- 期 日：平成26年1月27日(月) 19:00～
 場 所：始良地区医師会館 ホール
 協議事項：1. 第1回研修会(1/25)の反省について
 2. 推進チーム活動テーマの決定について
 3. 研修会計画
 4. その他



- ★推進チームの委員を3グループに分けて夫々テーマを掲げて作業部会を作り活動することになりました。

テーマ①「24時間連携のための看取りや急変時の体制」について

本人が望む看取りや急変時等に、在宅医療の充実のために1人でも多くの在宅に携わる医師やそれを支える医療従事者等を増やすことを目的とする。

テーマ②「入退院時のスムーズな連携」

入退院が必要な時、スムーズな連携がとれ支援できる体制づくりを標準化ツールを含め検討する。

テーマ③「望ましい療養生活の姿」

一人暮らし、老々介護、認知症、病気があっても地域で暮らし続けられる体制作りを資源マップを含め検討する。

以上のテーマを目標として今後委員を増やししながら、多職種の方々の意見をまとめてそれぞれの作業部会を今後検討していくことになりました。



○先般各事業所あてにお送り致しました「在宅医療に関する調査」(アンケート)につきましては、お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

まだご回答頂いていない方におかれましては、2月28日(火)までに事務局(FAX:43-2044)までご返送下さいますようお願い申し上げます。

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、医療・介護・福祉の提供に関連する多くの機関が手を取り合って地域住民主体の暮らしを支えていけるようご協力をお願い致します。

【在宅医療推進地域支援事業連絡協議会事務局】

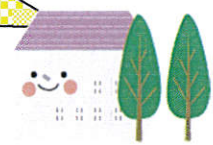
公益社団法人始良地区医師会事務局内

〒899-5106 鹿児島県霧島市隼人町内山田1-6-62

TEL: 0995-42-1205 FAX: 0995-43-2044

れんけあニュース

連care news



～みんなで協力して患者さんや家族の生活を支えるまちづくりを目指して～

始良地区医師会 在宅医療推進地域支援事業ニュースレター

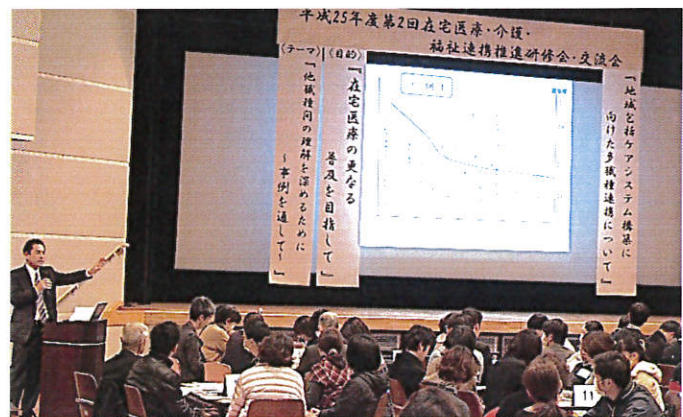
2014年3月26日発行 vol.3 p.1

1. 平成25年度 第2回在宅医療・介護・福祉連携推進研修会・交流会

平成26年3月1日(土)、午後2時より第2回研修会を隼人農村環境改善センターにおいて、また研修会終了後、始良地区医師会館において三師会主催の交流会を開催し多職種の方々248名にご出席頂きました。

医師会長挨拶の後、始良・伊佐地域振興局、始良郡歯科医師会、始良郡薬剤師会の先生よりそれぞれの立場で在宅医療についてご発表頂き、続いて吉満内科クリニック 吉満先生に事例を発表頂きグループワークを開催しました。参加者からは「一つの事例に対して多職種の方々の意見を聞くことができて勉強になった」「今後もこのような研修会を開催してほしい」との声もあり、今後在宅医療を進めていくために医療・介護・福祉・行政等との連携の重要性を再認識しました。

研修会終了後の交流会では、事業所ごとに一言ずつPRの時間を設け、顔の見える連携づくりの一助になったのではと思います。



2. 平成25年度 鹿児島県医師会 在宅医療提供体制推進事業活動報告会

平成26年3月20日(木)、午後7時より鹿児島県医師会館において今年度の活動報告会がございました。

当日は県医師会と実践医師会の5医師会(いちき串木野市医師会、薩摩郡医師会、曾於医師会、大島郡医師会、始良地区医師会)から活動報告があり、すでに昨年度から在宅医療推進地域支援事業に取り組んでいる肝属郡医師会からは、事業後の経過報告と、体験発表として「ALS患者の事例から得られたもの」と題して、資源の少ない中、連携して在宅看護をされている様子を具体的にお話し頂き、更に一番身近で介護されている奥様の体験談を録音テープでお聞きする事ができたことは大変有意義でした。それぞれの地域の課題や対策、特徴的实施内容、多職種連携の取組みや会議で出た意見等の報告を聞き、在宅医療を望まれる方々の支えとなれるように関係職種の方々と連携し、今後更に事業を推進していきたいと思いをしました。

今後とも本事業に関しまして、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



2. 活動報告(2月)

● 第2回事業運営委員会

期 日：平成26年2月14日(金) 19:00～
場 所：始良地区医師会館 会議室
協議事項：①教育・研修計画について
②調査・課題抽出・方法の検討
③広報・啓発計画について



★今までの経過報告と①については多職種向けの講演会とは別に、医師向けの研修会の開催や住民啓発として地区別に研修会も開催してはとの意見がありました。②については住民向けのアンケート調査の内容について検討しました。③についてはニュースレターを月に一度発行すること、今後ポスターを作成し、FMきりしまやケーブルテレビにも広報の協力をお願いしてはどうかとの意見がありました。

● 第4回在宅医療推進チーム連絡会・第3回事業運営委員会 合同会議

期 日：平成26年2月20日(木) 19:00～
場 所：始良地区医師会館 会議室
協議事項：1. 第2回事業運営委員会報告
2. 作業部会活動報告について
3. 研修会(3/1)について
4. 住民意識調査の内容について
5. 在宅医療推進地域支援事業に係る実施状況調査シートについて
6. その他



★推進チーム連絡会と3つの作業部会、事業運営委員会で協議されてきた内容の報告とこれからの活動についての取り組みについて話合いました。今後も連携を図りながら進めていくことになり、3月1日(土)開催の第2回研修会の目的・テーマ・グループワークの進め方について協議しました。

● 推進チーム作業部会

テーマ①「24時間連携のための看取りや急変時の体制」について

○第2回作業部会 期 日：平成26年2月18日(火) 19:00～
場 所：始良地区医師会館 会議室

★第2回在宅医療・介護・福祉研修会(3/1)の発表事例について検討。

テーマ②「入退院時のスムーズな連携」

○第2回作業部会 期 日：平成26年2月13日(木) 19:00～
場 所：始良地区医師会館 会議室

★委員が持ち寄った、現在使われているツールを再検討。



テーマ③「望ましい療養生活の姿」

○第2回作業部会 期 日：平成26年2月20日(木) 17:30～
場 所：始良地区医師会館 会議室

★中学校単位での資源マップを作成してはどうかという意見があり、使いやすいものとはどんなものが協議。

3. 本事業で「たけちゃん一座」による寸劇のDVDを作成致しました!

始良地域の福祉施設や行政の職員の方々などが中心となって結成された「たけちゃん一座」による寸劇で、認知症等になっても家族・地域住民の方々と、自助・互助・共助・公助のもと、住み慣れた地域で暮らし続けることができたらという願いのもと作成したものです。普及・啓発活動に役立てたいと思っておりますので、貸し出しを希望される方は気軽に下記在宅医療推進連絡協議会事務局(TEL: 42-1205)までお問い合わせ下さい。



住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、医療・介護・福祉の提供に関連する多くの機関が手を取り合って地域住民主体の暮らしを支えていけるようご協力をお願い致します。

【在宅医療推進事業連絡協議会事務局】

公益社団法人始良地区医師会事務局内
〒899-5106 鹿児島県霧島市隼人町内山田1-6-62
TEL: 0995-42-1205 FAX: 0995-43-2044



～みんなで協力して患者さんや家族の生活を支えるまちづくりを目指して～

始良地区医師会 在宅医療推進地域支援事業ニュースレター

2014年4月28日発行 vol.4 p.1

1. 映画「ペコロスの母に会いに行く」無料上映会の共催を致します。

平成26年5月25日(日)午後2時から霧島市民会館ホールにおいて映画「ペコロスの母に会いに行く」の無料上映会が霧島市地域密着型サービス事業者連合会、霧島市の主催により開催されます。

今回、地域住民の方へ認知症や介護についてのご理解やご協力を頂くため、この映画上映会を共催することになりました。当日は先着1000名までの入場となります。

深刻な社会問題として語られがちな介護や認知症を「ボケるとも、悪かことばかりじゃなかかもしれん。」と愛情とユーモアに溢れた内容で描かれており、子どもからお年寄りまで楽しめる内容となっておりますので、是非お誘い合わせの上ご来場下さい。



2. 平成26年度 始良市松原地区「かたってみろかい」してみろかい」徘徊模擬訓練が開催されました。

平成26年4月27日(日)、午前9時30分より、始良市松原地区の住民の方々を対象に、上記徘徊模擬訓練が開催されました。

当日は、地域の小学生から高齢者まで大勢の方が集まり、寸劇を交えて、道に迷い自宅に帰れず困っている認知症高齢者役の10名をグループ毎に捜索し、実際に声掛けをすることで認知症高齢者への手助けの方法や、接し方を学びました。

訓練後、グループワークをしましたが、皆さん積極的に手を挙げてグループで話した内容を発表されました。その意見のなかには「実際に迷って困っている認知症の方に出会ったとき、すぐ警察署に連絡していいのか、ほかに連絡できるネットワークがあるのか。」「認知症サポーターのお店などが広く認知されていないので、広報誌回覧板・コンビニのレジ袋等に広報してはどうか。」などの意見が挙げられました。

また、始良市警察署長より「徘徊者を見かけたらすぐに連絡してほしい。通報が遅れると遠くまで行ってしまい、事故に繋がる可能性が高くなってしまおう。」との話もありました。

認知症になっても、住み慣れた場所で安心して住み続けられるように、認知症の方を支援する仕組みや街づくりについて、地域に住んでいる方々が一緒に考えるいい機会となった訓練でした。

今後もこのような取り組みに積極的に参加したいと思います。



2. 活動報告(3月)

● 第4回事業運営委員会

- 期 日：平成26年3月5日(水) 19:00~
場 所：始良地区医師会館 会議室
協 議：1) 作業部会活動報告
2) アンケートについて
3) 県医師会活動報告会への取り組みについて
4) 平成26年度計画について
5) 三師会の「在宅医療」の定義
6) その他

- ★ 3つの作業部会の報告から、住民の方々への広報の方法として、「いきがづくり推進事業やすこやか保健センター等で講話をされる際に事業についてのPRをしては」との意見や、「資源の把握を進め、まずは在宅をしている医療機関をまとめては」などの意見がでました。

● 第5回事業運営委員会

- 期 日：平成26年3月7日(金) 19:00~
場 所：始良地区医師会館 会議室
協議事項：1) 住民意識調査について
2) 在宅医療に関する調査(医療機関・関係団体送付)結果について
3) その他

- ★ 住民意識調査について、対象年齢や人数、男女比率や発送日等について協議しました。15歳以上を対象に調査期間を約2週間として発送元を始良地区医師会の本事業名で出すことになりました。

● 第2回地域在宅医療推進連絡協議会

- 期 日：平成26年3月18日(火) 19:00~
場 所：始良地区医師会館 ホール
内 容：1. 「平成25年度県医師会在宅医療提供体制推進事業活動報告会説明」
2. 関係施設のアンケート調査に基づく課題と対応策について
3. その他

- ★ 各関係団体や行政、三師会代表にお集まり頂き、県医活動報告会の説明とアンケート結果から課題と今後の対応について協議頂きました。今後は歯科医師会でも在宅医療に取り組むことから研修会等協働して開催すること、マンパワーが足りない状況のなか、夜間対応しているところが連携することにより事業の推進になるのでは等のご意見を頂き、活発な協議会となりました。

● 推進チーム作業部会

テーマ①「24時間連携のための看取りや急変時の体制」について

- 第3回作業部会 期 日：平成26年3月27日(木) 19:00~
場 所：始良地区医師会館 会議室

- ★ 先ずは医療機関に依頼したアンケートの結果で、在宅訪問可能と回答された先生方どうして連携を図り、小さな単位で連携のひな形を作成し、一人でも多く在宅医療に携わる医療従事者を増やす。

テーマ②「入退院時のスムーズな連携」

- 第3回作業部会 期 日：平成26年3月12日(水) 19:00~
場 所：始良地区医師会館 会議室

- ★ 現在入退院時に使われている様式を再検討し、より使いやすく診療報酬点数のとれる書式を検討する。

テーマ③「望ましい療養生活の姿」

- 第3回作業部会 期 日：平成26年3月13日(木) 17:30~
場 所：始良地区医師会館 会議室

- ★ 往診可能な医療機関の把握が必要。収集した情報の管理・更新をどこで誰がするのが課題。

- 第4回作業部会 期 日：平成26年3月26日(水) 18:00~
場 所：始良地区医師会館 会議室

- ★ 蒲生地区・隼人地区の先生に相談し、一人の患者さんを中心にモデル的にマップ作りをする。



住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、医療・介護・福祉の提供に関連する多くの機関が手を取り合って地域住民主体の暮らしを支えていけるようご協力をお願い致します。

【在宅医療推進連絡協議会事務局】

公益社団法人始良地区医師会事務局内
〒899-5106 鹿児島県霧島市隼人町内山田1-6-62
TEL: 0995-42-1205 FAX: 0995-43-2044



～みんなで協力して患者さんや家族の生活を支えるまちづくりを目指して～

始良地区医師会 在宅医療推進地域支援事業ニュースレター

2014年5月27日発行 vol.5 p.1

1. 映画「ペコロスの母に会いに行く」無料上映会が開催されました。

**－ボケることで父ちゃんに会えたとなら、
ボケるとも悪かことばかいじゃなかかもしれん－**

5月25日（日）午後2時から霧島市民会館ホールにおいて映画「ペコロスの母に会いに行く」の無料上映会が霧島市地域密着型サービス事業者連合会、霧島市主催、始良地区医師会在宅医療推進地域支援事業共催により開催されました。

当日は先着1000名までの入場ということもあり、早から並ばれる方もおられ、駐車場や入場の案内でご迷惑をおかけ致しましたが、いざ上映が始まると、暗く重く語られがちな「介護」や「認知症」が愛情とユーモアに溢れた内容で描かれており、場内からは常に笑いがおこり、そして最後は自然と涙が出て、観終えた時には清々しい気持ちで家族のあり方や「介護」の受け止め方を再認識させられるような作品でした。

そして、この映画のプロデューサーの村上克彦さんは、「この映画は決して派手な映画ではありません。爆破などの大仕掛けもありません。ただ、『認知症の母を訪ねるハゲた息子』というだけの映画です。でも全国に300万人いらっしゃるという認知症患者の皆さんを介護するその数倍の数のご家族に、少しでも考え方のアイディアを提案できればと思い製作しました。現実の介護がこんなに楽天的とは決して思いません。辛く苦しいものであることは勿論承知しておりますが、せめて映画の中だけでも、笑って感動して心が多少でも癒されるのであればそれが私どものせめてもの願いであります。」と述べられております。

まさに「人が人として生きる」ことを描いた今までにないまったく新しい介護喜劇映画でした。

この映画を見られた著名人のコメントをご紹介します。

- 『ぼくは、年間百本の映画を観る。そして、またひとつ、この映画で優しさを覚えました。新たな優しさです。誰もが必要とする優しさです。誰もが心の中に持たなければいけない優しさです。[塚本やすし（絵本作家）]
- 『認知症の辛さ、空しさ、切なさ、そして喜びを見事に描いた介護の教科書だ。この映画を見れば「介護」が「快護」になる。すべての日本人に見て欲しい！』[毒蝮三太夫（タレント）]
- 『誰もが精いっぱい生きて今にたどりついた。認知症の人のかけがえのない人生絵巻が鮮やかにくりひろげられる。だれもが決して軽んじることのできない重さと強さと共に。』[樋口恵子（評論家、高齢社会をよくする女性の会理事長）]



● 推進チーム作業部会

vol.5 p2

テーマ「入退院時のスムーズな連携」



- 第5回作業部会 期 日：平成26年5月20日（火）19:00～
場 所：始良地区医師会館 会議室
- 第1回小作業部会 期 日：平成26年5月27日（火）19:00～
場 所：始良地区医師会館 会議室

- ★ 連携ツール「介護支援連携指導票」と「入院時情報提供書」について検討。「介護支援連携指導票」で指導料を算定するにはケアマネの来院とケアプランが必要。退院後に利用が予測されるサービス内容の欄を追加し、どのようなサービスが利用できるのか患者さんやご家族に知ってもらう。



「入院時情報提供書」については、書式に関する細かい規定はない。入院前のADL情報を記入することで退院後の目標設定を立てやすい。家族等の連絡先はキーパーソン、主介護者、決定権を持つ人に分け、連絡をする優先順に記入できるようにする。

次回の作業部会で一旦書式の確定をし、マニュアルを作成する。いくつかの医療機関、事業所に試行的に数ヶ月間利用してもらい、追加・修正を加えて最終的な書式として確定する。

● 事業運営委員会

- 第6回事業運営委員会 期 日：平成26年5月30日（金）19:00～
場 所：始良地区医師会館 会議室

- ★ 3つの推進チーム作業部会チームリーダーより現状と課題の報告。
【チーム吉満】では、一人の医師の活動可能範囲や対応可能な医療行為の把握、主治医不在時の連携体制の構築、急変時・退院時の医師との連携・調整役との意見交換会の開催などを今後取り組む方向。



【チーム前田】は連携ツール(書式)を作成中で医療機関と各施設が入退院時に必要な情報を整理し、スムーズな連携を推進する。今後はマニュアルを作成しモデル機関に試行的に使用してもらい、最終的な評価としては、算定した点数が始良地区でどの位増えたかを見ていく。

【資源と体制発掘チーム】は一人の対象者を中心にしてどのような資源が取り巻いているのかを分かり易く図に示したものと、医療機関の指導及び対応可能な処置一覧や行政の窓口、介護・福祉施設一覧などを冊子にまとめたものの2種類を作成する予定。現在地域包括ケアに関する資源の情報など幅広い内容となっているため、在宅医療に関する情報に焦点をあて、掲載内容を絞っていく必要がある。また、事業運営委員会の各専門部会で、研修会の企画・立案や住民の方々への広報ツールの検討を行う。サロンや健康講話で在宅医療についての広報・啓発活動をする際に、先生方に使っていただくスライドを委員会で作成する。

3. 講演会等開催報告

○在宅医療従事者に対する多職種連携研修会

- 日 時：平成26年4月23日（水）午後7時～ 於：始良地区医師会館ホール
講 演：『看取る人と看取られる人～医療チームに参加した僧侶の経験～』
浄土真宗本願寺派善福寺 住職 長倉伯博氏
参加者数：47名



○平成26年度 始良・伊佐地区老人福祉施設協議会施設長会

- 日 時：平成26年5月7日（水）午前10時～
場 所：かごしま空港ホテル
講 演：『地域で生きる為に在宅医療ができること』
吉満内科クリニック 院長 吉満彰先生
参加者数：108名



住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、医療・介護・福祉の提供に関連する多くの機関が手を取り合って地域住民主体の暮らしを支えていけるようご協力をお願い致します。

【在宅医療推進連絡協議会事務局】

公益社団法人始良地区医師会事務局内
〒899-5106 鹿児島県霧島市隼人町内山田1-6-62
TEL：0995-42-1205 FAX：0995-43-2044